

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

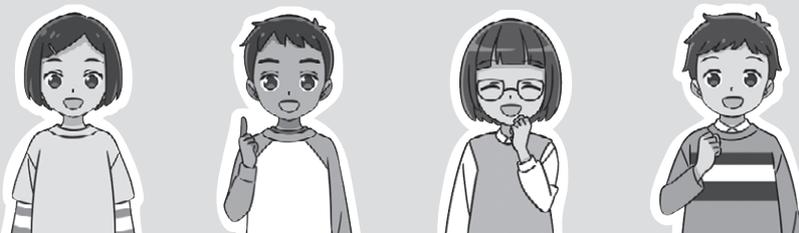
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-212	小学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	道徳 115 道徳 116	しょうがく どうとく いきる ちから 1 しょうがく どうとく いきる ちから 1 どうとくノート		

1. 編修の基本方針

— 子どもたちの「心はずむ」日々のために —

道徳科は心を育てる特別の教科書です。

子どもたちが、よりよく「生きる力」を育みながら、
「心はずむ」日々を送れるようにと願い、私たちは、この教科書を編修しました。



本教科書は、教育基本法第2条に示す「教育の目標」を実現するため、次の基本方針を定めました。

基本方針

1

「自分を、まわりの人を大切にできる力」を育みます

- 自分を見つめ、自分のよさについて考えます。
- 自分を支えてくれるまわりの人の存在の大切さに気づきます。
- 互いを理解し、尊重し合える人間関係を築こうとする心が育ちます。



基本方針

2

「自ら学びに向かう力」を育みます

- 見通しをもって学習が進められる、わかりやすい教科書です。
- もっと深く考え、もっと話し合いたくなる、主体的・対話的な学びを促します。
- 多面的・多角的な見方、考え方へと視野を広げる資料が豊富です。



基本方針

3

「みんなと生きていく力」を育みます

- society5.0時代を支える子どもたちと、現代のさまざまな課題に関する多様なテーマについて考えます。
- 多様な人々と協働して、問題を解決しようとする意欲と人間力を養います。





基本方針

1 「自分を、まわりの人を大切にできる力」を育みます

① 自分のよさを見つめられる教材

「個性の伸長」「感謝」の項目を重視しました。諸外国と比較して低いとされる児童の自己肯定感を養い、まわりの人に支えられて自分が存在していることに気づくことで、自分もまわりの人にも大切に思える心を育みます。

個性の伸長

(P.118・119)



② 自己肯定感を高めるコラム

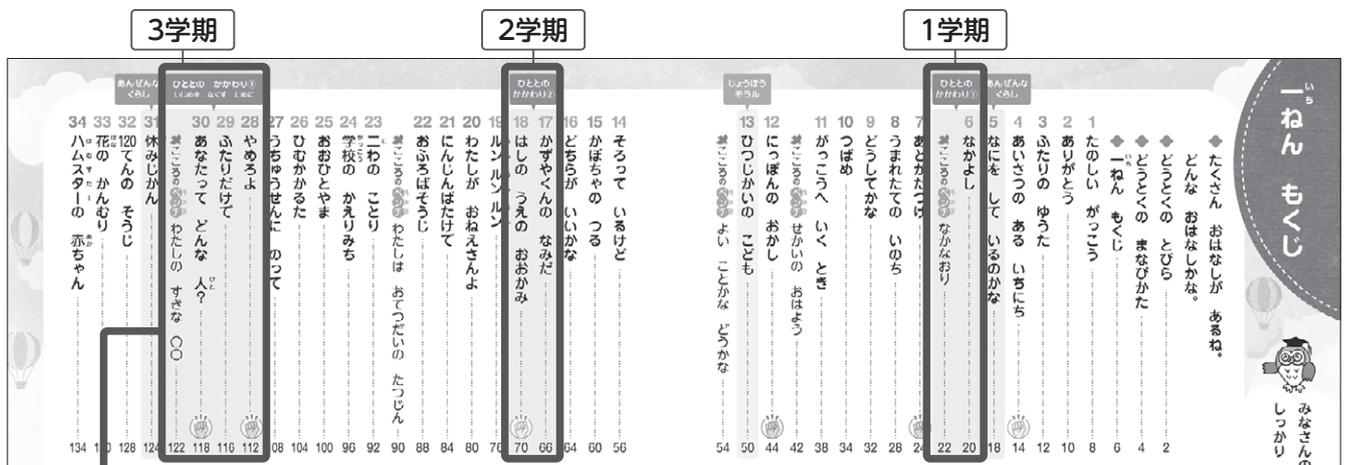
自己肯定感を高める活動や知識をコラム「心のベンチ」で紹介しています。ありのままの自分を認めることや、人に認めてもらうことが、児童の「心はずむ」生き方につながります。そして、それは、まわりの人を認め、理解することへとつながっていきます。

(P.90・91)

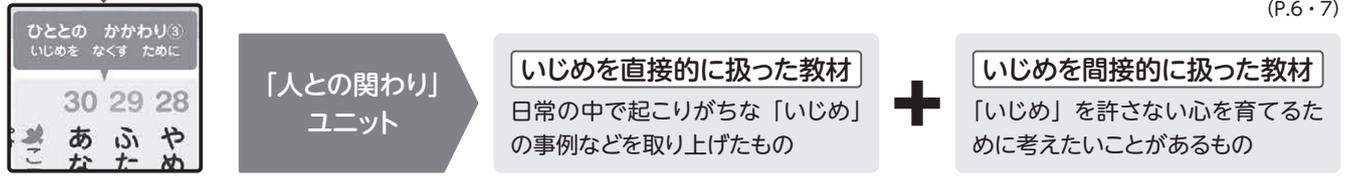


③ 互いに理解し、認め合う心を育むユニット

重要なテーマである「いじめの防止」について、複数の教材を「人との関わり」としてユニット化しました。学期ごとに配置することで、学級の状況に応じて、集中的に学べるようにしました。



(P.6・7)





基本方針 **2 「自ら学びに向かう力」を育みます**

1 学びたくなる、考えたくなる紙面構成

児童が学習に取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるようなさまざまな工夫を紙面に施しました。教材の内容を素早く理解できるようにすることで、児童が意欲的に学ぶことができます。

⑤考えてみよう (中心発問)
教材のねらいに迫る発問例を自発的に問いかける形で示しました。

⑥見つめよう・生かそう
学習を通して考えたこと、わかったことを確かめ、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。

④主な登場人物
教材の主な登場人物を示して、内容の把握を助けます。

①内容項目キーワード
本時の学習内容の手がかりを示しました。

②導入の発問例
本時の導入に役立つ発問例を示しました。

③リード文
児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

(P.104~107)

2 主体的・対話的で深い学びを実現する「ぐっと深める」

児童の道徳的価値の理解をよりいっそう深めるための手立てとして、「ぐっと深める」を新設しました。「問題解決的な学習」や「体験的な学習」などの手法を用いた効果的な展開のようすを写真で分かりやすく示しています。児童のこれまでの多様な実践活動を生かしながら、主体的・対話的で深い学びが実現できます。



3 学びを広げ、深める「心のベンチ」「教科書QRコンテンツ」

(1) 視野を広げ、考えを深めるコラムを充実

コラム「心のベンチ」を各学年5箇所配置し、学習した道徳的価値について、児童の思考をより広く深く多面的・多角的な見方、考え方へと誘う内容を取り上げました。道徳科以外の教育活動とも関連づけています。

ほかの きょうかななどの **かんれん** ずこう



(2) 教材理解を助ける「教科書QRコンテンツ」

すべての教材と一部のコラムに、児童の教材理解を助け、学ぶ意欲を高めるデジタルコンテンツを用意しています。紙面にある二次元コードから見るすることができます。

コンテンツの内容

- 朗読音声
- 画像
- アニメーション
- ワークシート
- 動画
- 朗読動画 など



※用意されているコンテンツの内容は、教材によって異なります。



基本方針 **3 「みんなと生きていく力」を育みます**

1 今、考えておくべき諸課題を扱った教材

現代的・社会的課題に関わりのあるさまざまなテーマの教材をそろえました。多様な人々と協働して、問題を解決しようとする意欲を養います。

- 主なテーマ**
- ・環境
 - ・防災
 - ・平和・人権
 - ・福祉
 - ・キャリア
 - ・国際理解 など



2 道徳的価値とSDGsのつながり

現代的・社会的な課題には、多様な見方や考え方あり、一面的な理解では解決できないことがたくさんあります。例えば、一人ひとりの個性の大切さを知り、お互いにそれを尊重することで、SOGI（性的指向・性自認）への理解のきっかけとするなど、SDGsの視点で考えることも意図しています。



3 GIGAスクール時代の情報モラルへ

一人一台端末が実現された今、情報のよき使い手となるための資質の育成が求められます。他者への思いやり、法やきまりのもつ意味などについて考えることをもとに、デジタル・シティズンシップ教育への広がり意識しています。学年の発達段階にあわせて、教材とともに「心のベンチ」で取り扱っています。

「心のベンチ」の情報モラル

- 1年 ▶ よい ことかな どうかな
- 2年 ▶ 「ありがとう」をつたえよう
- 3年 ▶ ゲームがやめられない
- 4年 ▶ インターネットの向こう側
- 5年 ▶ 親しき中にもマナーあり
- 6年 ▶ めげせ! 情報モラルの達人

一人ひとりの学びに寄り添う（※上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色）

- 特別支援教育への配慮
 - ユニバーサルデザインフォントを採用しました。文字の大きさのほか、カラーバリアフリーにも対応し、色使いなどレイアウトにも工夫しています。また、学習者用デジタル教科書、拡大教科書を発行しています。
 - 授業に集中できるよう、すべての教材を見開き構成にしています。
 - 読みの負担を軽減するため、当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。
- 人権上の配慮
 - 人権尊重の観点から、教材や挿絵にはジェンダーやSOGI（性的指向・性自認）を含めた多様性に留意し、人権・法教育の専門家に校閲をお願いしました。
- 系統性への配慮 ー保・幼・小、中の連携
 - 発達の段階を考慮し、保・幼と小（低学年）の連携や、小（高学年）と中の連携についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。
- 保護者への配慮 ー家庭、地域との連携
 - 「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えています。また、道徳ノートを活用するなどして、学校、家庭、地域との連携を図る手立てを提供しています。
- 指導者への配慮
 - 多種多様な教材の授業研究や評価の視点の参考となるよう、教師用指導書などの教授用資料を発行しています。充実した授業展開により、子どもたちの学びがますます深まります。
- 環境への配慮 ー環境にやさしい教科書作り
 - 地球環境への負荷に配慮して、教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しました。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	教材の挿絵を見ることを通して、道徳科の学習への期待を膨らませるよう工夫しました。	表紙裏～p.5
	正直、誠実 13 ひつじかいの こども	うそをつく人の言うことは信用できないと思われることに気づき、正直にしようとする態度を養おうとしました。	p.50～53
	節度、節制 3 ふたりの ゆうた ほか 7、15、31	規則正しい生活をしたときと、そうでないときを比べることを通して、規則正しい生活をしようとする判断力を育てようしました。	p.12～13 ほか
	希望と勇気、努力と強い意志 22 おふるばそうじ	困難なことでもくじけずにやり遂げることの喜びに気づき、自分のやるべき仕事はしっかり行おうとする態度を養おうとしました。	p.88～89
	感動、畏敬の念 27 うちゅうせんにつて	私たちの住む世界にある美しいもののすばらしさに気づき、すがすがしい心をもととする心情を育てようしました。	p.108～111
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 5 なにをしているのかな ほか 21、28	絵の中から「よいこと」と「悪いこと」を見つけ出し、その理由を考えることを通して、善悪を判断し、進んで正しいことをしようとする態度を養おうとしました。	p.18～19 ほか
	個性の伸長 30 あなたってどんな人? ほか ②	友達同士で互いのよさを見つけ合い、認め合うことを通して、自分の特徴に気づき、大切にしようとする態度を養おうとしました。	p.118～121 ほか
	勤労、公共の精神 32 120てんの そうじ	働くことが人の役に立ったり、自分の喜びにつながったりすることに気づき、進んで働こうとする心情を育てようしました。	p.128～129
	家族愛、家庭生活の充実 19 ルン ルン ルン	家族のために働くことの喜びを理解し、自分も家族の役に立とうとする心情を育てようしました。	p.76～79
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 18 はしの うえのおおかみ ほか 24、33	意地悪をするより、親切にしたり優しくしたりするほうがいい気持ちになることに気づき、親切にしようとする心情を育てようしました。	p.70～75 ほか
	感謝 2 ありがとう	自分が日頃多くの人にお世話になっていることに気づき、感謝しようとする心情を育てようしました。	p.10～11
	礼儀 4 あいさつのある いちにち ほか 16	挨拶をすると、お互いに気持ちがよくなることに気づき、進んで気持ちのよい挨拶をしようとする心情を育てようしました。	p.14～17 ほか
	友情、信頼 6 なかよし ほか 23	友達と共に過ごす喜びに気づき、友達と仲よくし、助け合おうとする心情を育てようしました。	p.20～21 ほか
	規則の尊重 25 おおひとやま ほか 9、14	小さなルール違反が積み重なると、みんなが困ることに気づき、進んできまりを守ろうとする態度を養おうとしました。	p.100～103 ほか
	公正、公平、社会正義 17 かずやくんの なみだ ほか 29	意地悪をされて仲間に入れないことのつらさや悲しさを理解し、誰とでも仲よくしようとする態度を養おうとしました。	p.66～69 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 1 たのしいがっこう ほか ①	これから始まる学校生活に期待を膨らませ、学校生活を楽しもうとする態度を養おうとしました。	p.8～9 ほか
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 8 うまれたての いのち ほか 20、34	小さな命のもつ力強さ、美しさ、か弱さを通して、すべての命を大切にしようとする意欲を高めようしました。	p.28～31 ほか
	自然愛護 10 つばめ	生き物のことをかわいと思う気持ちや、優しく接する喜びに気づき、身近な動物に親しみをもって接しようとする心情を育てようしました。	p.34～37
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 12 にっぽんのおかし ほか 26	和菓子の美しさ、季節感などを通して、我が国の伝統や文化のすばらしさを再認識し、大切にしようとする心情を育てようしました。	p.44～49 ほか
	国際理解、国際親善 11 がっこうへいくとき ほか ③	他国の人と気持ちが通じることのうれしさに気づき、他国の人々と親しくしようとする心情を育てようしました。	p.38～41 ほか

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-212	小学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	道徳 115 道徳 116	しょうがく どうとく いきる ちから 1 しょうがく どうとく いきる ちから 1 どうとくノート		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

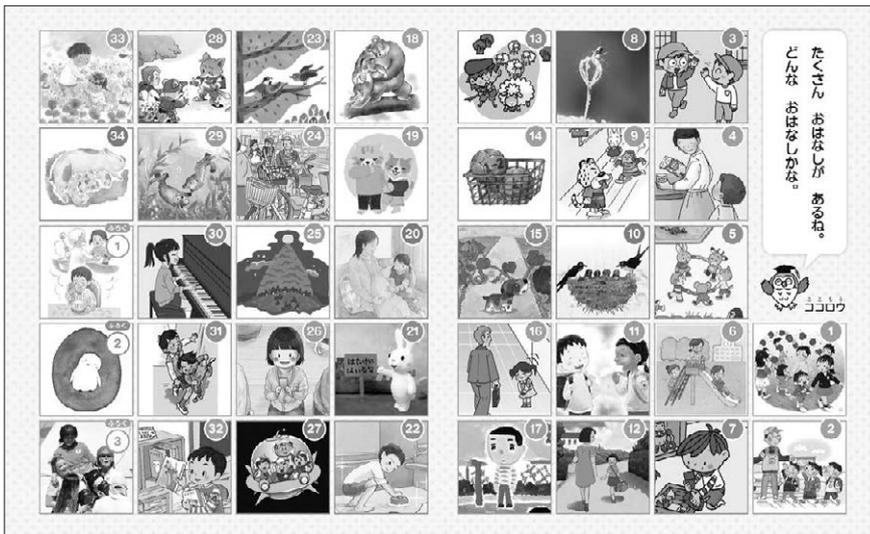
1

学びの流れが見える ー道徳科の学習の意義や学び方を知るー

1 保・幼、小の連携

第1学年では、小学校入学間もない入門期の児童が円滑に道徳科の授業に取り組めるよう、巻頭の目次をイラストや写真と教材番号のみで表し、教材の内容に興味・関心を高められるようにしました。

また、オリエンテーションにおいても、イラストや写真を中心にした構成とし、児童が楽しみながら道徳科の学習の意義や学び方について理解できるよう工夫しています。



(表紙裏・P.(1))



(P.2・3)



(P.4・5)

教材配列についても同様に配慮し、1学期に配置した教材には長い文章をほとんど用いず、イラストや写真を見て道徳の授業ができるようにしました。児童の負担をできる限り軽くし、生活の実態から道徳科の学習へと誘えるよう工夫しています。



(P.8・9)



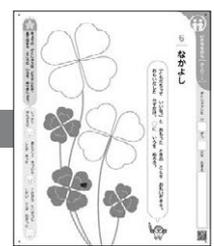
(ノートP.2)

「どうとくノート」

1学期に配置した教材のノートは、学年の発達段階に考慮するとともに、児童の負担の少ない紙面構成としています。



(P.20・21)



(ノートP.7)

1 授業の流れをつくる「発問例」

教材に応じて、授業の流れに沿った3つの発問の例を全教材に示しています。これによって、教師も児童も授業の方向性が共有でき、じっくりと学習活動に取り組むことができます。

考えてみよう(中心発問)
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例。

導入の発問
教材に入り込むきっかけとなる発問例。

(P.14・15)

2 多様な学習方法で「ぐっと深める」

ねらいとする道徳的価値の理解をよりいっそう深めるための手立てとして、そのポイントとなる授業展開の一部を例示しました。

「問題解決的な学習」、「体験的な学習」はもちろんのこと、「多様な実践活動を生かした学習」を取り入れた展開で、ねらいにぐっと近づく深い学びを実現することができます。



▶ 体験的な学習を用いて深める (P.16・17)

▲ 多様な実践活動を生かして深める (P.48・49)

▲ 問題解決的な学習を用いて深める (P.114・115)

特色

3

考え、話し合いたくなる多様な教材

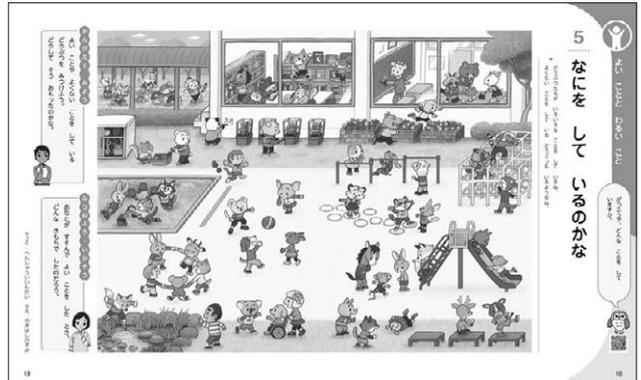
1 児童の心をつかむ多様な教材

心を捉える読み物教材のほか、マンガや写真など、さまざまなジャンルの題材を取り入れました。

2 児童の考えを広げるコラム「心のベンチ」

「心のベンチ」では、広い視点で物事を捉えられるよう、道徳科以外の学習での活用や他教科との関連も意図しました。

思わず友達の考えを聞きたくなる「ココロウ」の投げかけが、より多面的・多角的な見方や考え方へと誘います。



(P.18・19)



(P.22・23)



(P.108・109)

特色

4

新たな工夫で学びを支える

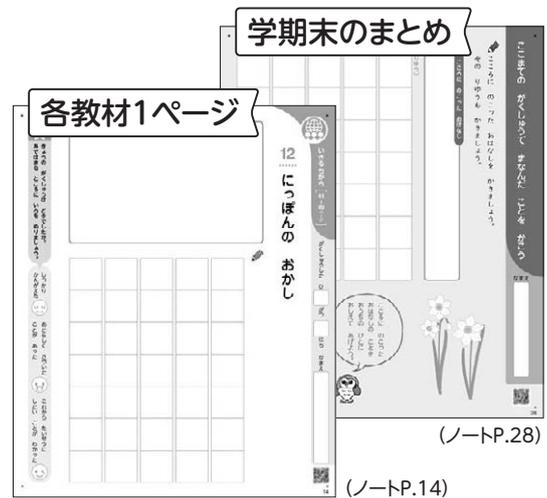
1 児童の成長と指導の効果がわかる「道徳ノート」

■ノートを使うメリット

- ・児童は自分の成長を実感でき、教師は児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握できます。評価の根拠の一つとなります。
- ・発言の苦手な児童の表現の場を確保できます。
- ・自分の考えを整理することができ、言語活動の充実が図れます。
- ・一冊にまとまっているため、保護者との連携に役立ちます。

■授業スタイルに合わせて、さらに使いやすく

- ・特定の問いを設けず自由に書き込めるようにしました。
- ・二次元コードから立ち上がる「ワークシートデータ」は、授業支援システムなどを介して、教師が幅広く活用できます。



(ノートP.28)

(ノートP.14)

2 教材理解を深める「教科書QRコンテンツ」

授業の導入や展開など、必要に応じて活用できるQRコンテンツで、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。

内容

- ・朗読音声
- ・画像
- ・アニメーション
- ・ワークシート
- ・動画
- ・朗読動画 など

児童一人ひとりの学習状況に応じて、道徳ノートや教科書QRコンテンツを活用することで、個別最適な学びを実現することができます。



「学び方」のコンテンツ

〈 本 教 科 書 の 特 色 表 〉

基本事項	準拠性	教育基本法との関連	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3つの力を育むことを重視して編修しています。①「自分を、まわりの人を大切にする力」、②「自ら学びに向かう力」、③「みんなと生きていく力」。	
	準拠性	学習指導要領との関連	・小学校学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱い、重点事項や配慮事項を重視しています。	
		公正性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。	
		正確性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。	
内容・系統		発達の段階への配慮 (保・幼、小、中の連携)	・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。また、「保・幼、小、中」の校種間連携にも配慮しました。	
		配列・分量	・「オリエンテーション」、「本編教材」、「ふろく」で構成し、適宜「コラム」を配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・カリキュラムや学習の見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。	
		学習意欲・主体的な 学習態度の育成	・オリエンテーションに道徳学習の意義や学びなどをわかりやすく示し、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につながるようにしました。 ・児童の心を捉え、考えを刺激し、多面的・多角的な見方や考え方でできる教材を用いました。 ・教科書QRコンテンツを配し、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮しました。	
		主体的・対話的で 深い学びの実現	・オリエンテーションや自我関与を中心とした教材のほか、教材と関連したコラムを設置し、多面的・多角的な見方・考え方へと視野を広げるよう工夫しました。 ・「道徳の学び方」では、「話す」「聞く」「書く」などの言語活動の学習方法を紹介しています。 ・児童が、ねらいとする道徳的価値への理解をいっそう深められるよう、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」、「多様な実践活動を生かした学習」を取り入れた学習展開の参考例として、「ぐっと深める」を設置しました。	
	重点課題		現代的・社会的 課題への対応 (いじめ・情報モラルほか)	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全な暮らし(防災・防犯・交通安全)」「情報モラル」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材をユニット化して配置しました。 ・情報活用能力の育成とともに求められる「情報モラル」について、発達の段階に応じて扱えるようにしています。 ・人権尊重の観点から、教材や挿絵にはジェンダーやSOGI(性的指向・性自認)を含めた多様性に留意し、人権・法教育の専門家に校閲をお願いしました。
			伝統と文化の尊重と 国際理解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味・関心を持たせ、多様性のある国際社会に思いを巡らせる教材を用意しました。
			社会の持続可能な 発展(SDGs)	・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達の段階に即して道徳的な観点から取り扱い、協働的な学びに資するようにしました。 ・コラム「心のベンチ」の一部で、SDGsの目標とのつながりを考えることを示唆しています。
	その他の現代的・社会的な課題	・国際理解教育、法教育、キャリア教育のほか、福祉、防災など多様な社会的課題についても取り扱っています。		
その他		家庭や地域との連携	・二次元コードから参照できる教科書QRコンテンツには、朗読音声や理解を深める資料などを付与し、ICT機器を活用した個別最適な学びを提供しています。 ・「道徳ノート」(別冊)は家庭との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして発信し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。 ・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。	
		他教科等との関連	・道徳教育の要としての特質に鑑み、学校生活を踏まえた教材配列、各教材に関連する他教科等との関連を表示するなど、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つよう配慮しました。	
		評価のための工夫	・「道徳ノート」(別冊)への記述によって、児童の道徳性の成長を見取り、学習状況を継続的に把握することで、指導と評価の参考となるようにしました。	
		特別支援教育の観点 からの配慮(CUDなど)	・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書、学習者用デジタル教科書を制作します。	
		判型	・AB判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。	
		文字、印刷、製本	・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・文字は、ユニバーサルデザインに配慮し開発されたUDフォントを使用しました。 ・本文用紙は、軽量な再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しています。 ・製本は紙面が開きやすく堅牢なあじろ綴じで、表紙はコート紙を用いて汚れにくくしました。	

2. 対照表

第1学年

図書構成・内容				学習指導要領の内容		配当 時数	配当学期	
番号	ページ	教材名	主題名	視点	内容項目			
1	8～9	たのしい がっこう	がっこうが たのしみだ	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	1	一学期11時間	前期15時間
2	10～11	ありがとう	おせわに なって いる ひと	B	感謝	1		
3	12～13	ふたりの ゆうた	きそくたしい せいかつ	A	節度、節制	1		
4	14～17	あいさつの ある いちにち	たいせつな あいさつ	B	礼儀	1		
5	18～19	なにを して いるのかな	よい ことと わるい こと	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1		
6	20～21	なかよし	ともだちと いっしょ	B	友情、信頼	1		
7	24～27	あとかたづけ	きもちよい せいかつ	A	節度、節制	1		
8	28～31	うまれたての いのち	かがやけ いのち	D	生命の尊さ	1		
9	32～33	どうしてかな	きまりを まもって	C	規則の尊重	1		
10	34～37	つばめ	いきものに やさしく	D	自然愛護	1		
11	38～41	がっこうへ いく とき	せかいの ひとと つなごう	C	国際理解、国際親善	1		
12	44～49	にっぽんの おかし	にっぽんの よさ	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1		
13	50～53	ひつじかいの こども	うそばかり ついて いると	A	正直、誠実	1		
14	56～59	そろって いるけど	みんなで つかう もの	C	規則の尊重	1		
15	60～63	かぼちゃの つる	わがままばかり して いると	A	節度、節制	1		
16	64～65	どちらが いいかな	れいぎたしい ことは	B	礼儀	1		
17	66～69	かずやくんの なみだ	だれとでも なかよく	C	公正、公平、社会正義	1		
18	70～75	はしの うえの おおかみ	しんせつに すると	B	親切、思いやり	1		
19	76～79	ルン ルン ルン	かぞく みんなで	C	家族愛、家庭生活の充実	1		
20	80～83	わたしが おねえさんよ	いのちって なあに	D	生命の尊さ	1		
21	84～87	にんじんばたけで	だめな ことは だめだよ	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1	三学期9時間	
22	88～89	おふろばそうじ	がんばる ところ	A	希望と勇気、努力と強い意志	1		
23	92～95	二わの ことり	ともだちと なかよくする よろこび	B	友情、信頼	1		
24	96～99	学校の かいりみち	しんせつに する よろこび	B	親切、思いやり	1		
25	100～103	おおひとやま	すこしぐらい	C	規則の尊重	1		
26	104～107	ひむかかると	わたしの ちいき	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1		
27	108～111	うちゅうせんに のって	うつくしい もの	D	感動、畏敬の念	1		
28	112～115	やめるよ	正しいと おもう ことを	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1		
29	116～117	ふたりだけで	だれとでも	C	公正、公平、社会正義	1		
30	118～121	あなたって どんな 人?	じぶんの よさ	A	個性の伸長	1		
31	124～127	休みじかん	あんぜんな 暮らし	A	節度、節制	1		
32	128～129	120てんの そうじ	みんなの ために	C	勤労、公共の精神	1		
33	130～133	花の かんむり	やさしい ところ	B	親切、思いやり	1		
34	134～137	ハムスターの 赤ちゃん	どうぶつの いのち	D	生命の尊さ	1		
①	138～141	学校を 休んだ	たのしい 学校	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	1	—	—
②	142～145	ぼくは 小さくて 白い	じぶんの よい ところ	A	個性の伸長	1	—	—
③	146～149	スポーツを とおして	ほかの くのにの 人びとと	C	国際理解、国際親善	1	—	—
計						34		
ふろく						3		

【備考】

- ・表の「学習指導要領の内容」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。視点のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示す。
- ・番号①②③の「ふろく」教材は、本文教材の補充性を目的に使用するため、配当時数には含めていない。